

令和7年度 学校評価(教職員自己評価・学校関係者評価)

赤穂市立有年中学校

1 本年度の学校経営方針

◆学校教育目標 「志高く、学ぶ意欲と思いやりの溢れる生徒の育成」 ～夢の実現に、明るく、やさしく、勇気をもって挑戦し続ける～

◆基本方針

- (1) 「笑顔」・「あいさつ」・「やさしさ」があふれる生徒の育成に努める
- (2) 仲間と共に学び・考える機会をつくり、向上心と豊かな人間性を養う
- (3) 夢と志を持ち、よりよい生き方を求めて挑戦する勇気と行動力を培う
- (4) 有年中学校生徒であることに誇りを持ち、郷土を愛する心を育む学校づくりに努める

学校関係者評価

◎適切である
○ほぼ適切である
△あまり適切でない
×適切でない

2 本年度の学校努力目標

- (1) 【豊かな心】の育成 ～人権感覚・人権意識を基盤とした学校文化を創造する～
- (2) 【確かな学力】の育成 ～学ぶ意欲、思考力を育てる授業づくりを推進する～
- (3) 【すこやかな体(心身)】を培う
- (4) 【自主自律の精神】の育成 ～真心を持ち物事に誠実に取り組む、主体的な生徒を育成する～
- (5) 特別支援教育の充実
- (6) 魅力ある学校づくり、地域に信頼される学校づくりを進める

3 教職員自己評価結果 (A～D) A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成できなかった D:達成できなかった

学校努力目標 <調査人数>13人

NO	評価項目	A	B	C	D	分析と改善の方策	自己評価	改善方策
							は適切か	は適切か
1	災害が起きた時を想定し、避難方法を具体的に話しをしている。	4	7	1	1	(1) 【豊かな心】の育成 ～人権感覚・人権意識を基盤とした学校文化を創造する～ 【成果】 ・いじめや暴力、人権、災害等、命に関することについて意識して生活していると感じている。 【課題】 ・学校へ行くこと、自分のクラスは楽しくないと感じている生徒がいる。 【改善の方策】 ・道徳や学活、スクールカウンセラーとの相談・研修、生活ノート、教育相談等を利用し、ソーシャルスキルを身に付けたり、昼休みは生徒のそばにいる等、相談できる機会を仕組んでいく。		
		31%	54%	8%	8%			
2	生徒が安心して生活できる居場所づくりを進めている。	9	3	0	1		◎4	◎5
		69%	23%	0%	8%			
3	生徒の気持ちに寄り添いながら話を聴くことを大事にしている。	9	4	0	0		○7	○6
		69%	31%	0%	0%			
4	生徒がいじめや暴力のない学校生活を送れるように取り組んでいる。	7	6	0	0			
		54%	46%	0%	0%			
5	生徒にわかりやすい授業ができるよう工夫している。	6	7	0	0	(2) 【確かな学力】の育成 ～学ぶ意欲、思考力を育てる授業づくりを推進する～ 【成果】 ・授業にまじめに取り組み、分かりやすいと感じている。 【課題】 ・生徒が自身の行動を振り返るが成長を実感しにくい。また、保護者が生徒の内面的な成長を把握しづらい。 ・成果とは反面、全体的に学力が低下している。 【改善の方策】 ・授業の「めあて」を提示。理解度や達成度を確認するために、授業後に振り返りとめあての達成度を確認する時間を設定し、自己評価する。家庭と情報共有して、学習の成果や課題、生徒の変化を伝える機会を増やす。		
		46%	54%	0%	0%			
6	授業の改善のため工夫を続けている。	7	5	1	0		◎5	◎4
		54%	38%	8%	0%			
7	生徒の発言を大切にし、質問しやすい授業を心がけている。	8	4	1	0		○5	○6
		62%	31%	8%	0%			
8	生徒の話しをよく聞いて、考え方や意見を認めてから指導することを心がけている。	7	5	1	0		△1	×1
		54%	38%	8%	0%			
9	進路について考える機会を提供している。	4	7	1	1	(3) 【すこやかな体(心身)】を培う 【成果】 ・部活動を熱心に指導しており、生徒もおおむね積極的に参加している。 【課題】 ・運動能力が全体的に低下している。 ・令和8年度部活動終了後はさらなる運動量の低下が懸念される。 【改善の方策】 ・定期テスト等の結果と体力テスト等の結果を照合し、学習面と運動面の相関関係について調べ、運動の大切さについて説明していく。 ・部活動終了後の放課後をクラブ活動として位置づけ、学習や文化・芸術活動のほか、球技大会等、身体を動したり地域の方と活動する機会を設ける。		
		31%	54%	8%	8%			
10	思いやりの心や命を大切に学習を機会あるごとに行っている。	7	5	1	0		◎5	◎6
		54%	38%	8%	0%			
11	振り返りの機会を計画的に行っている。	2	8	2	1		○5	○4
		15%	62%	15%	8%			
12	運動の大切さを理解させ、体を動かすように工夫している。	1	8	3	1		△1	×1
		8%	62%	23%	8%			
13	部活動で、連帯感、成功感を味わせ、興味を持たしている。	5	6	0	2			
		38%	46%	0%	15%			
14	部活動では「技」だけでなく、心の成長を大切に指導を行っている。	7	4	0	2	(4) 【自主自律の精神】の育成 ～真心を持ち物事に誠実に取り組む、主体的な生徒を育成する～ 【成果】 ・おおむね気持ちの良いあいさつをすることができている。 ・社会のルールを守って行動、生活することができている。 【課題】 ・生徒、保護者ともに教師は進路について話をしていないと感じている。 【改善の方策】 ・3年間、進路指導を含めた系統的なキャリア教育を行い、キャリアノートにまとめる。また、まとめたものを定期的に保護者に情報発信していく。	◎5	◎5
		54%	31%	0%	15%			
15	生徒は毎日喜んで登校している。	0	13	0	0		○5	○5
		0%	100%	0%	0%			
16	楽しいクラスづくりに取り組んでいる。	8	5	0	0		△1	△1
		62%	38%	0%	0%			

NO	評価項目	A	B	C	D	分析と改善の方策	自己評価	改善方策	
							は適切か	は適切か	
17	友の大切さ、ありがたさ等をよく話している。	6	6	0	1	(5) 特別支援教育の充実 【成果】 ・人権について学習を深め、個々を大切に生活を送っている。 ・おおむね安心した学校生活を送れている生徒が多い。 【課題】 ・有年中学校に在籍するすべての生徒に対して、学校生活、心身、学習面において支援を要する生徒に応じた個別の支援が必要である。 【改善の方策】 ・各教科ごとに個々それぞれの困難さの状態、指導の工夫、配慮の意図、手立てについて整理していく。 ・部活動終了後の放課後を支援時間に充て、個々に応じた課題解決に向けた取り組みを行っていく。			
		46%	46%	0%	8%		◎6	◎6	
18	努力することの大切さを指導している。	8	4	1	0				
		62%	31%	8%	0%		◎6	◎6	
19	間違っただ行動に対して、わかりやすく指導している。	4	9	0	0				
		31%	69%	0%	0%		○5	○5	
20	学校行事や生徒会活動等での体験活動を多く経験させ、豊かな心を醸成している。	10	3	0	0				
		77%	23%	0%	0%				
21	生徒にはわかりやすく、ていねいな言葉で接している。	9	2	2	0		(6) 魅力ある学校づくり、地域に信頼される学校づくりを進める 【成果】 ・3年生を中心に、地域の事業所やイベントに参加し、貢献している。 【課題】 ・成果とは反面、三者ともPTA活動や地域活動に参加できていないと感じている。 【改善の方策】 ・部活動終了後の放課後や土日祝日に地域の方と一緒に体験活動を行う場を設定し、地域に貢献できる生徒を育成する。 ・保護者に呼びかけ、教師も役割に関係なく積極的に地域行事に参加する。 ・引き続き生徒にも積極的に参加を呼びかける。		
		69%	15%	15%	0%			◎5	◎6
22	自他や家族を大切に、楽しく生きることを指導している。	8	4	1	0				
		62%	31%	8%	0%	◎5		◎6	
23	習慣の意味や重要性について、生徒に啓発している。	8	4	0	1				
		62%	31%	0%	8%	◎6		○4	
24	地域の行事やPTA活動に積極的に参加し、保護者地域との関係作りを心がけている。	4	5	2	2				
		31%	38%	15%	15%			△1	
25	自分からあいさつすることを心がけている。	10	3	0	0	(7) 全体を通して 【成果】 ・素直で朗らかで、ルールや社会規範に則り行動できる生徒が多い。 【課題】 ・生徒は自分から行動することを意識して生活を送っていると回答しているが、保護者は生徒が自分から進んで行動できていないと感じている割合が高い。 【改善の方策】 ・参観日やオープンスクールのときだけでなく、日頃から授業、行事、学校生活が参観できる体制づくりを行う。 ・自分から行動できた場面を記録し、通信等で情報発信していく。 ・自主性を育てるために、教師主導の活動から生徒主導の活動に転換し、自ら行動したことを評価することで、自己有用感を高めていく。			
		77%	23%	0%	0%				
26	社会規範を育てるように指導している。(正々堂精神)	8	4	1	0				
		62%	31%	8%	0%				
27	主体的に行動できる生徒の育成を考えた指導をしている。	8	3	2	0				
		62%	23%	15%	0%		◎6	◎6	
28	自他の考えを認め、尊重する学校づくりに努めている。	7	6	0	0				
		54%	46%	0%	0%		○5	○5	
29	清掃指導、環境整備をよくしている。	5	7	1	0				
		38%	54%	8%	0%				
30	生徒は自転車を整然と駐輪ができています。(徒歩通学は除く)	10	3	0	0				
		77%	23%	0%	0%				

教職員自己評価における特記事項

・運動の大切さについては、部活動の地域移行開始後は、私自身もっと理解させ、体を動かす場を設けることに貢献できるようにしていきたい。生徒の筋力・体力の低下は成長や肥満等とも関係もあり、運動習慣のない生徒が増えないよう取り組みを検討する必要がある。

・体育教師として、子どもたちの日々の体力作りに意識して取り組み、学校全体で体力向上ができるように授業づくりを考えていきたいです。

・生徒・保護者・教職員のいずれからも、安心して過ごせる学校であり、教職員が生徒一人一人に寄り添いながら指導している学校として保護者にも高く評価されていると感じました。いじめや暴力のない学校づくりや、わかりやすい授業、落ちついた学校生活などが定着しており、人間関係を基盤とした安定した教育活動が定着していると感じました。一方で、学習や日々の生活の中で自分の理解や行動を振り返る機会や、分からないことをその場で質問する場面については、十分とはいえない状況も見られました。生徒が安心して過ごせる一方で、自分の考えや疑問を言葉にしたり、学びを振り返って次につなげたりする力には、まだ伸ばしていく余地があると考えています。今後は、振り返りを計画的に行う機会を整えることや、質問することが学びを深める大切な行動であるという意識を育てていくことが必要であると感じています。また、発言だけでなく、書く、話しかけるなど、さまざまな方法で質問できる雰囲気づくりを意識しながら、生徒一人一人が自分の学びを自覚し、主体的に学習に向かえる学校づくりを進めていく必要があると考えます。

評価項目、評価項目以外の課題や具体的な改善方法、ならびに総合的な学校関係者評価（一部抜粋）

- (1) ○学校が安心して学べる場・生活の場であること。生徒の居場所作りが一番大切であり、学校は自然に受け入れる場であってほしい。
- (2) ○学習面で悩んでいる生徒がいる。学力も個人差はあるが、順位だけでなく達成感が感じられると、自信とやる気につながると思う。
○少人数できめ細かい指導の利点が生かされていない。学年の枠を越えた一人ひとりの学びを保障できる取組を取り入れる(数学クラブ、漢字クラブ)。表面的な穏やかさに甘んじることなく、一人ひとりの潜在的な力(苦手な分野を見いだすことも含めて)を引き出す指導を。
○習熟度別に少人数授業を行ったり、資格検定取得を促したり、受験対応の学力に力を入れていただいている。
- (3) ○部活動終了後に赤穂市街から遠いことによる選択肢の少なさや送迎の難しさ等をどう対策するか、不安。
○生徒1人1人が個人的に体力作りをする方法を教え、指導する。(朝一番のラジオ体操、ストレッチ、筋トレ、ランニング)
○部活動の地域移行で運動をする機会を失う事になる。スポーツしない子は運動能力の低下が顕著になる。部活動終了後は勉強面をフォローできる様にすべきである。
○市内の学校と比較して、スポーツはやりにくい環境(場所がない)である。その中で学力まで低下すると、地域の強みがなくなる。
- (4) ○子ども達はどこで会ってもあいさつしてくれて嬉しい。
- (6) ○改善方策が3点あるが、具体的にどのように行っていく予定か。
○「有年中の課題」を発信し、有年中を核としてつながること。有年中で地域行事(ふれあい祭り、球技大会等)を行う(各自治会、町内会単位での運営が困難)。

総合的な学校関係者評価

- 文化祭の取り組みも、子ども達のやりたい気持ち、一生懸命が伝わって頼もしく感じました。学校に歌声がひびくって素敵ですね。
- 有年中の少人数での学校生活に対して、校長先生をはじめ諸先生方のご指導に感謝いたします。
- 小規模校の強みを活かした良い学校だと思います。生徒たちが今後も大きな集団の中でも活躍できるように、公的な場での経験をふやせるように、よろしくおねがいします。
- 息抜き出来る時間があるのか？休み時間はバタバタとトイレに行くのもゆっくりできないのでは？

（１）【豊かな心】の育成

(◎◎)(○○)(○○)(○○)(◎◎)(◎◎)(○○) (◎◎)(○○) (○○)(◎◎)

- 学校が安心して学べる場・生活の場であること。生徒の居場所作りが一番大切であり、学校は自然に受け入れる場であってほしい。
- 学校への登校や自分のクラスが楽しいと思えない生徒が思ったより多いことに驚いた。相談できる友達がないという生徒もおり、それらの生徒へのサポートできる取組をお願いします。
- 学校教育と共に保護者との連携を持って、子供達との学校生活をより充実させることで、社会のルール、人道的道徳観を持った心の成長についても視点を向けていくことも大切ではないかと考えます。有年中学校での取組方や先生方の生徒への接し方は、他校にない素晴らしい特色でもあり、今後も引き継いで取り組んでほしいと願います。

（２）【確かな学力】の育成

(◎○)(◎○)(○○)(○○)(◎◎)(◎◎)(△×) (◎◎)(○○) (○○)(◎◎)

- No.5～No.11の学習面では、悩んでいる生徒がいるように思います。学力も個人差があると思うのですが、順位だけでなく、自分なりの達成感が感じられると、少しずつ自信とやる気につながってくると思います。
- 少ない人数できめ細かい指導が期待出来る状況ではあるが、その利点が十分に生かされていない。学力低下は中学校だけで解決し得るものでなく、小学校からの継続的な取り組みの結果であるが、学年・クラスにこだわらず、学年の枠を越えた一人ひとりの学びを保障出来る取り組みも取り入れることが必要かと思う（数学クラブ、漢字クラブ）。100マス計算などの地道な取り組みも見直すことが必要…表面的な穏やかさに甘んじることなく、一人ひとりの潜在的な力（苦手な分野を見いだすことも含めて）を引き出す指導をめざして頂きたい。

- 習熟度別に少人数で授業を行ったり、資格検定取得を促したり、受験対応の学力に力を入れていただいている。

(3) 【すこやかな体（心身）】を培う

(◎◎)(◎○)(○○)(○○)(◎◎)(◎◎)(△×) (◎◎)(◎◎) (○○)(◎◎)

- 部活動終了後に赤穂市街から遠いことによる選択肢の少なさや送り迎えの難しさ等をどう対策するか、不安がある。
- 体力作りの件ですが、生徒1人1人が個人的に体力作りをする方法を、教え・指導することが必要ではないかと思えます。例：朝一番のラジオ体操・ストレッチ（一日の始まりとしての準備体操）、筋トレ、ランニング…
- 部活動の地域移行で運動をする機会を失う事になる。スポーツしない子は運動能力の低下が顕著になる。これまでは部活後に塾等があったと思うが、地域移行後は夜にスポーツをする事になっている。部活をやめたのであれば、勉強面はフォローをできる様にすべきである（両立が難しくなっている）。
- 市内の学校と比較して、スポーツはやりにくい環境である（場所がない）。その中で学力まで低下すると、地域の強みがないのではないか…。

(4) 【自主自律の精神】の育成

(◎◎)(○○)(○○)(○○)(◎◎)(◎◎)(△△) (◎◎)(◎◎) (○○)(◎◎)

- 子ども達はどこで会ってもあいさつしてくれて嬉しいです。

(5) 特別支援教育の充実

(◎◎)(○○)(○○)(○○)(◎◎)(◎◎)(○○) (◎◎) (◎◎) (◎◎)(◎◎)

(6) 魅力ある学校づくり、地域に信頼される学校づくりを進める

(◎◎)(○○)(○○)(○○)(◎◎)(◎◎)(○△) (◎◎) (◎◎) (◎◎)(◎◎)

- 改善方策が3点ありますが、具体的にどのように行っていく予定か教えていただきたいです。
- 先生方の普段の誠実な姿勢で取り組んでおられることに心より感謝したいと思います。コロナ禍を経ての社会状況の変化、人々の意識の変容など、今までの学校現場では想像もつかなかった状況下で日々生徒と向き合っておられること、本当に大変なことだと思います。更にSNSにネットの浸透、若い頃より多くの情報に囲まれ「本当のこと」を見極める力が求められています。多くの懸案を学校だけで荷うことは困難であり、家庭・地域とともに取り組んでいくことが求められます。こうした課題を共有すること、「有年中の課題」を発信し、有年中を核としてつながること、例えば、学校行事と地域行事を切り離すのではなく、有年中で地域行事を行うといった方向も必要かと

思います。有年地区も各自治会・各町内会単位での運営が困難になっている現状、有年中を会場に地域の行事を行うことで双方の課題を解決することにつながるのでは…。有年中に集まる機会が増えることで、お互いの親睦も深まり、小さな協力から大きな協力へと期待できる。現在の有年中の状況が一部しか伝わっていない（と思われる）状況下、具体的な行事（ふれあい祭り、球技大会など）を有年中を会場とするといったことも検討出来ないであろうか。

（7）全体を通して

(◎◎)(○○)(○○)(○○)(◎◎)(◎◎)(◎○) (◎◎) (○○) (○○)(◎◎)

- 生徒アンケートNo.24～No.30より、生活面・精神面でA回答が多いのはとてもすばらしいと思います。この先、社会に出ても基本となることなので、自信を持って続けて欲しいです。
- 参観日の保護者が少ないのが気になります。もっと自分の子を見に行き行ってあげて欲しい。子供が思春期で難しいのかもしれないのですが…。

評価項目以外の来年度の課題や具体的改善方法

- 学校・家庭・地域の連携とよく言われるが、実際となると難しく、昨今ますます困難になっていると痛感します。学校の課題、その切実さがなかなか伝わらない。なぜ伝わらないのか、本当に伝えようとしているのか…再考頂ければ幸いです。
- 本を読むことを奨励してほしい。様々な考え方・生き方を自主的に学べる方法として、読書が効果大であると思います。本を読むことによって、自分の将来の生き方・考え方が左右されることもあります。小説でも雑誌でも、とにかくこの年代には本を読むことが必要と思います。